

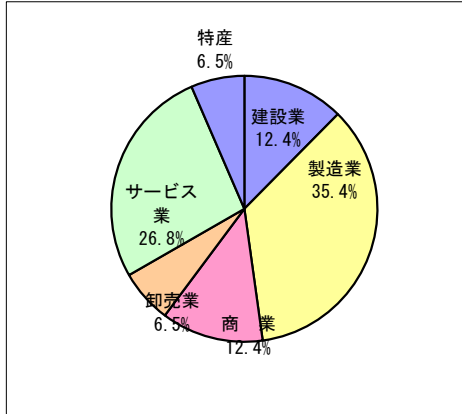
小野商工会議所会員事業所 景気調査（平成30年第3四半期）集計結果

平成30年10月31日

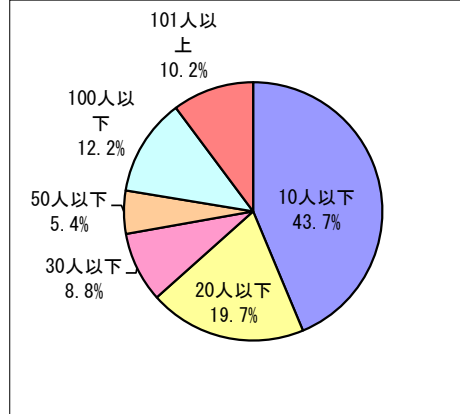
アンケート回答企業数 153社 （アンケート送付数 218社）
 回収率 70.2%

調査対象期間 平成30年7月～9月
 比較対象期間 前年同期 平成29年7月～9月
 前 期 平成30年4月～6月
 来 期 平成30年10月～12月

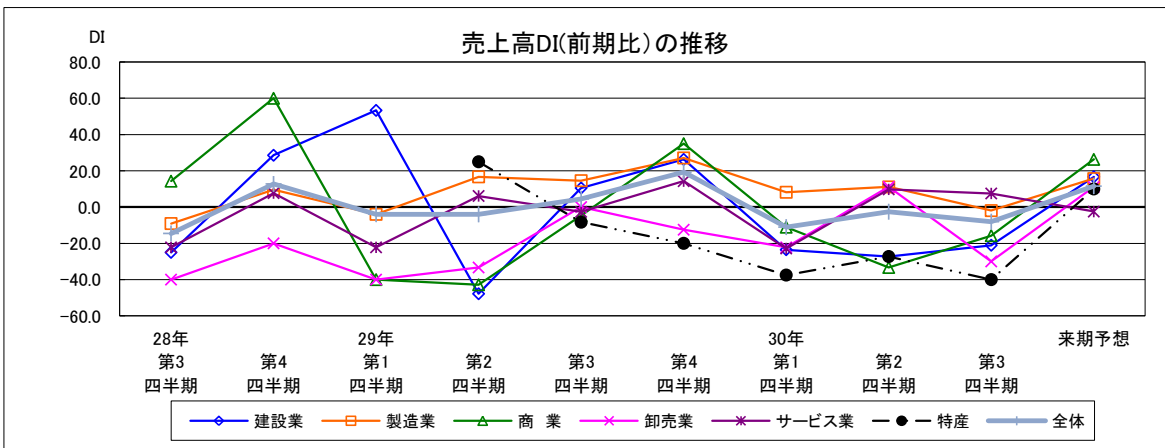
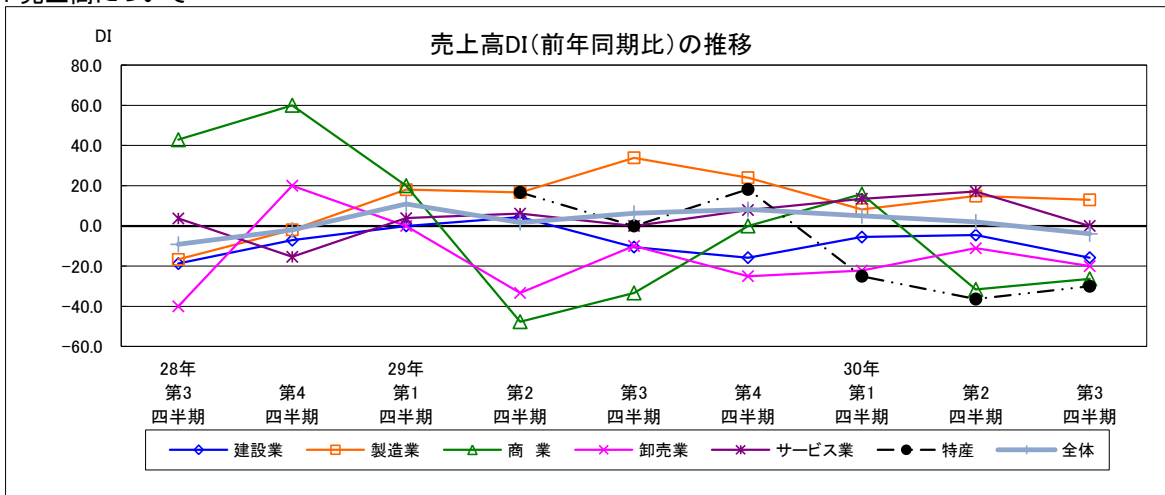
回答企業の業種別内訳



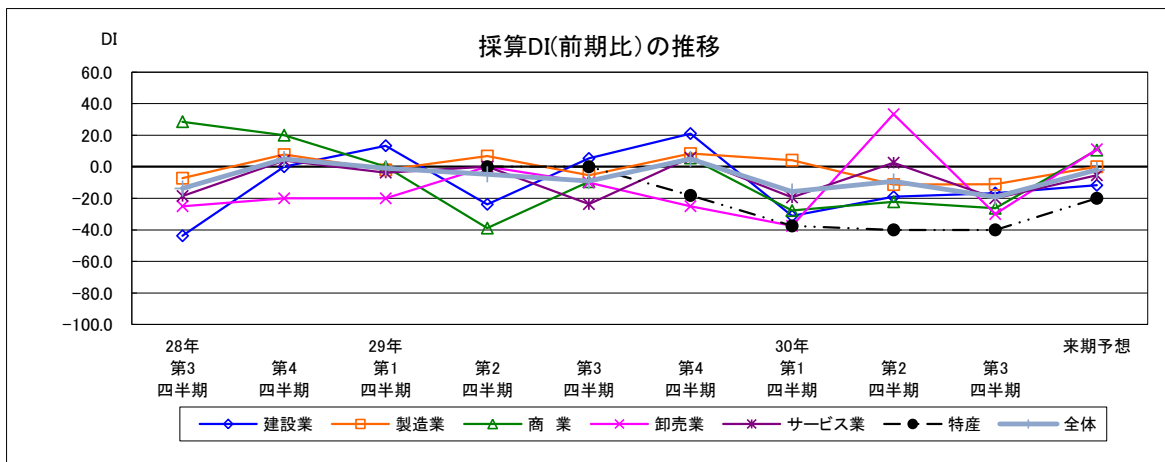
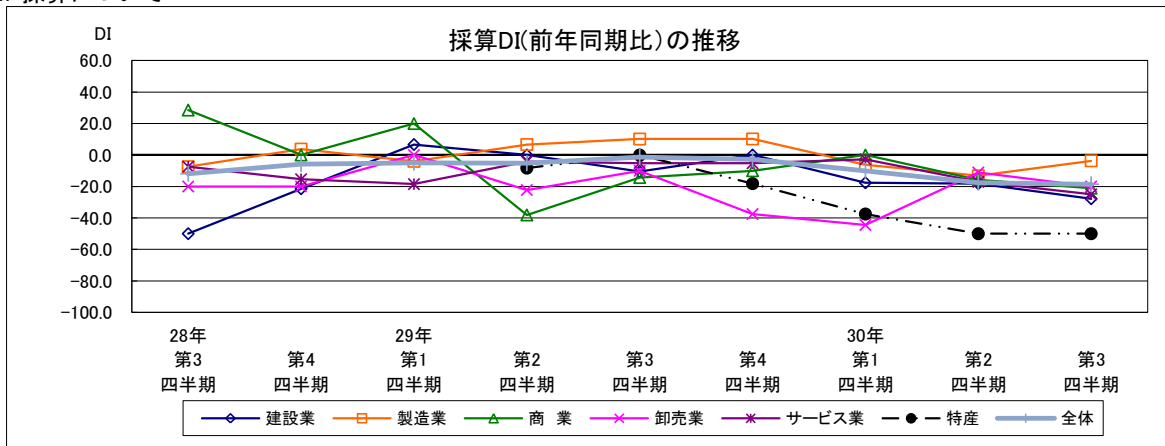
回答企業の従業員数別内訳



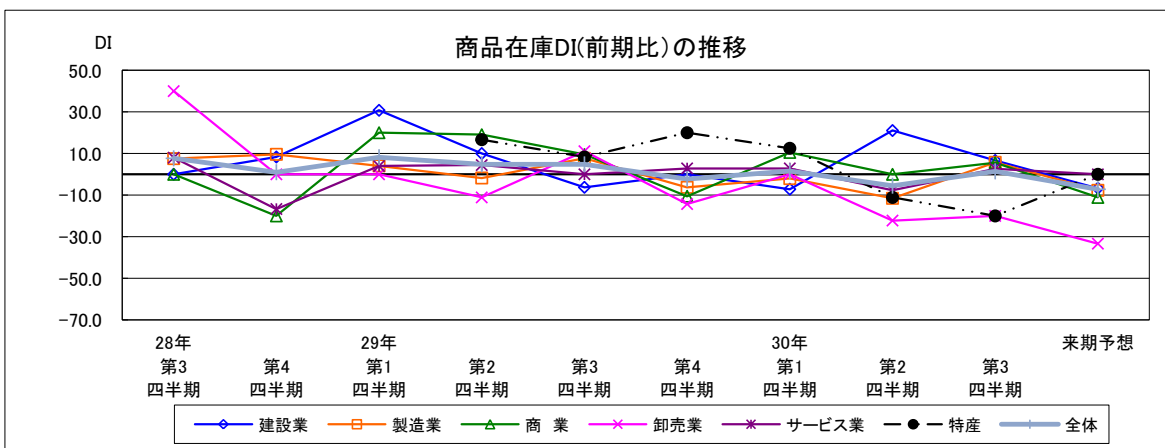
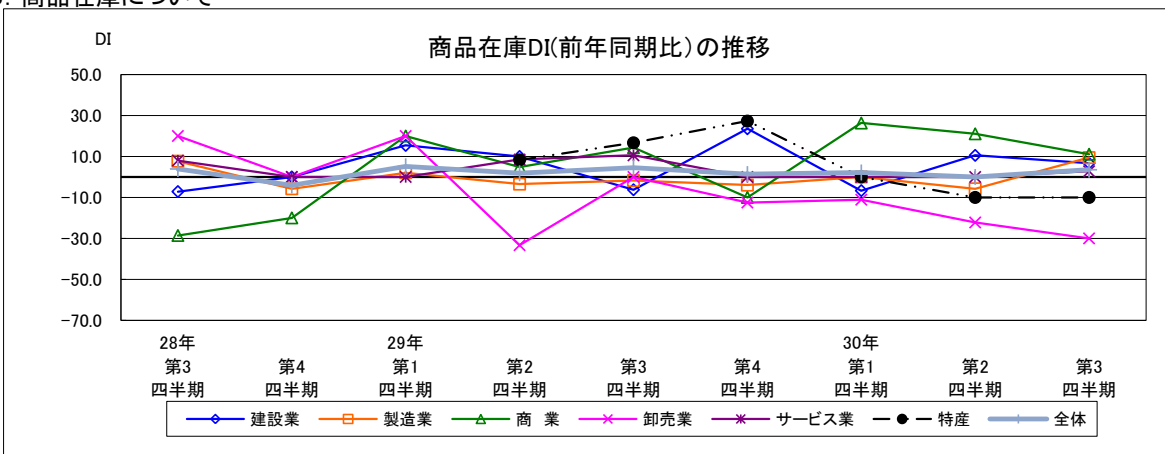
1. 売上高について



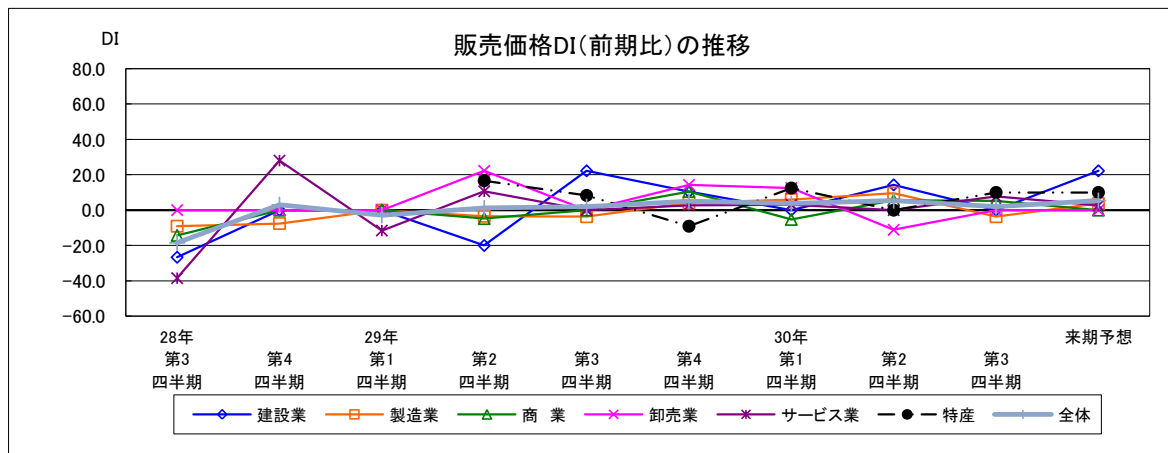
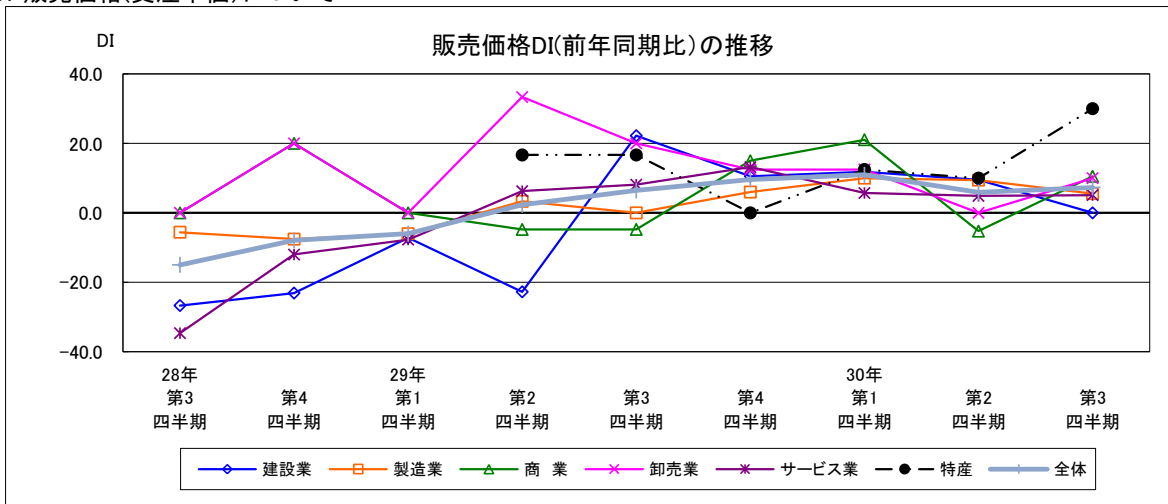
2. 採算について



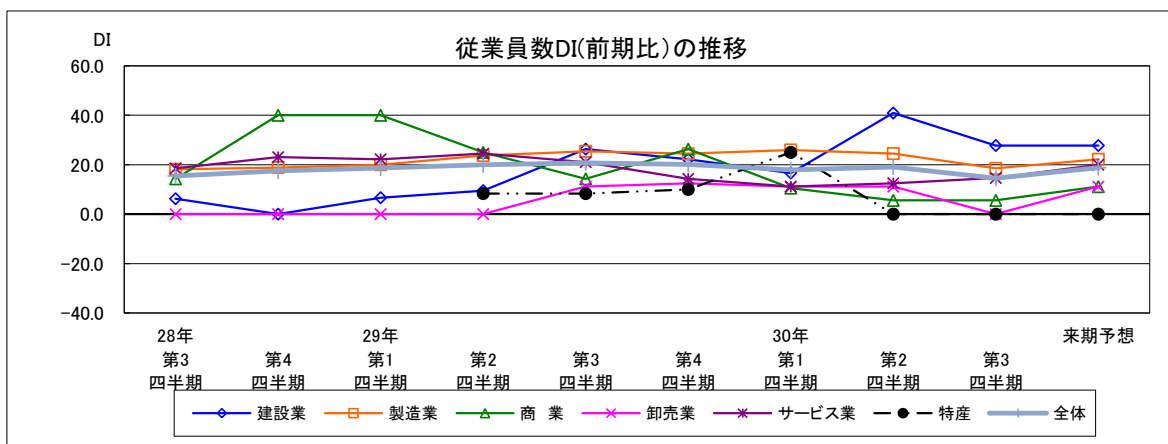
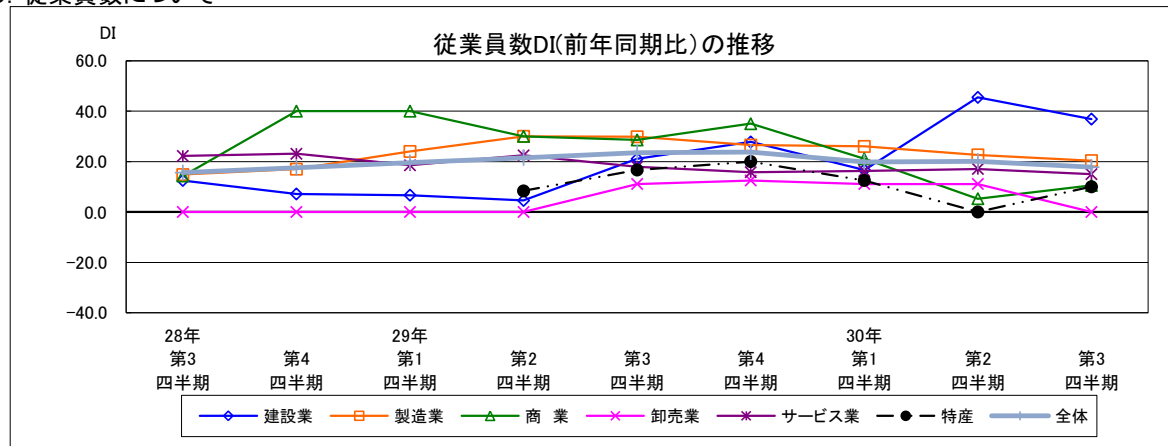
3. 商品在庫について



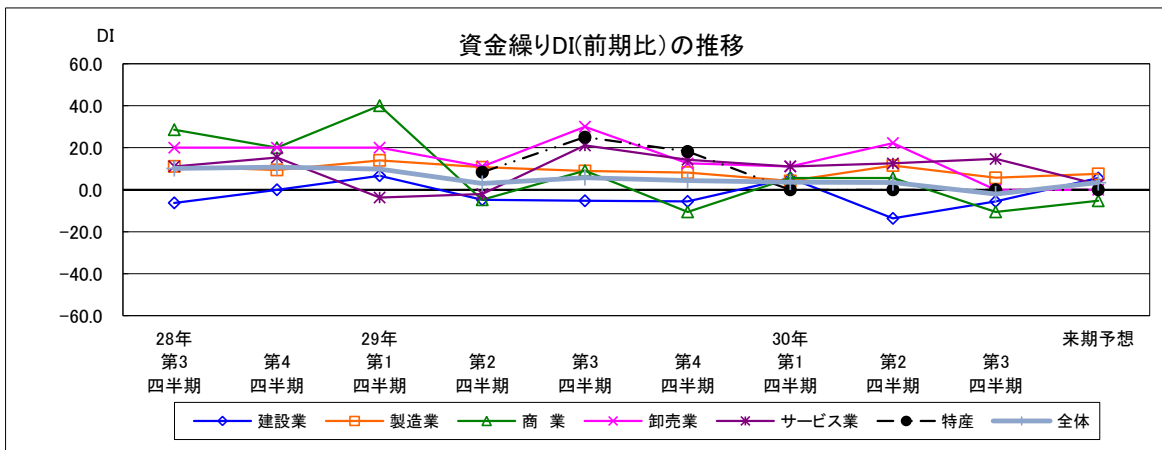
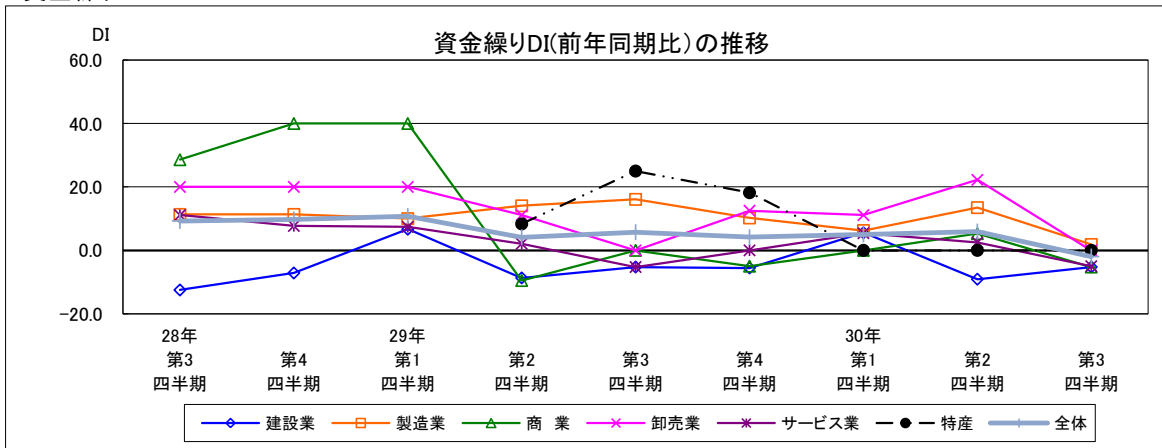
4. 販売価格(受注単価)について



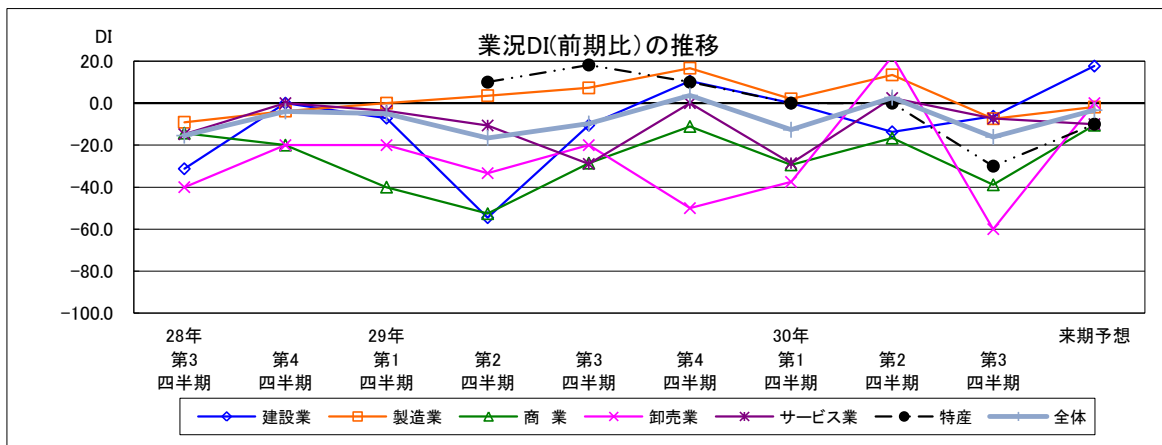
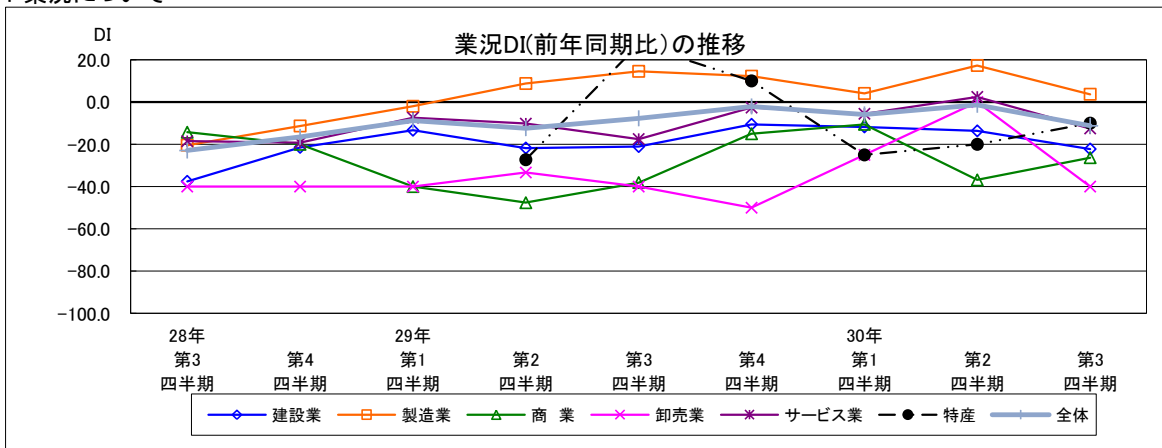
5. 従業員数について



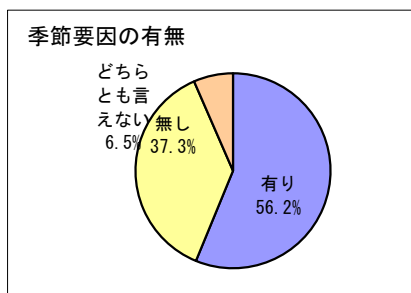
6. 資金繰りについて



7. 業況について



1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



8. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

○建設業

- ・顧客の高齢化に伴う得意先の減少が顕著である。人材確保する為には、労働条件の大きな変化が必要不可欠。
- ・民間の設備投資が活発な上に台風等の災害復旧が重なり、様々な職種で人手不足の状態です。
- ・公共工事は案件は少なく、厳しい状況が続くのでは。民間工事は案件も多く、収益に貢献。

○製造業

- ・台風、地震等の災害による生産の遅れが今の多忙の原因と思われる。
- ・各地の企業さんの復興がすすんで行くとともに戻って行くと思われる。
- ・自動車向けがメインで、現行と同水準で推移計画。
- ・各材料、今年から来年にかけて値上げ模様。
- ・受注はあるが製造できない（人不足）。最低賃金上昇による労務費悪化の一途。稼働開始から23年を過ぎ、老朽化による設備投資も限界にきており、慎重な判断が必要になってきている（工場移転）。
- ・受注は全体的に安定している。製品によりやや受注数が増加しつつある。需要が拡大し、安心安定が長く続いてほしいものです。
- ・燃料費高騰により商品の梱包資材など値上げの連絡があった。
- ・取引先が増えたことにより受注増。機械を増やしたいが敷地が足りない。

○商業

- ・8～9月は台風等、気候要因によって客数の減少が見られました。やや人材不足ではありますが、最低賃金の上昇により、採用を続けるのが難しくなっています。
- ・台風の影響で品不足が続き商品が値上がりして販売が低下しました。
- ・人員雇用
- ・人件費、休日、残業の面で国の方針が中小にはとても難しく大変である。

○卸売

- ・仕入先（職人の減少）。売先の減少（後継者不足）。
- ・前回も書いたと思うのですが、運送業界（宅配便扱い業者）の大幅値上げ（3片の計が160cm以上の荷物）で困っている。何か良い対策がないものか！
- ・職人の高齢化による仕入難。

○サービス

- ・今年は天候が不良の為（大きい）。
- ・雑貨スペースへの集客に小中高生向けの文具の取り扱いを検討中。より多くの人に喜んでいただける空間作りが常に課題です。お客さんの入りに波があるので安定した顧客の確保が問題です。貸切などの宣伝をする必要性を感じています。また、休日を週1日から週2日にしたため、売上げUPが課題です。
- ・台風接近により週末の夜の予約や昼の弁当のキャンセル続出。生鮮野菜の高騰は便乗値上げか？
- ・消費税増税による景況への悪化懸念。

○特産

- ・取引先（藤野氏）の火事で今後影響がありそう。インドネシアの地震で原材料が入ってこなくて、原材料の確保が急務である。